

中·日书信
表现辞典



燎 原

中国語書簡文 表現辭典

大河内康憲著
孫雷素門菲
丁

燎原

中·日书信文 表现辞典

1985年10月 ◎

編 著 者 大 河 内 康 憲
孫 丁 雷 素 門 菲

日本発行所 燐 原 書 店

中国总经销 中国国际图书贸易总公司
中国图书进口中心

6.50元

前　　言

用外语写文章，不是一件容易的事情。因为文章不仅需要通顺，而且要多少打动读者的心弦。文章与会话的巧拙不同，本来就需要经过长期的特别锻练的。书信文章，如果把特殊的商业性、事务性书信另当别论的话，仍然是向读者倾述、打动读者心弦的文章。书信中所传达的事实，最初相互间已了解的情况也是较多。尽管如此，仍然需要写信。这只是为了互通心声。如果把它用外语表现，其艰巨的程度是不难想像的。

然而书信文章有其特殊性。一般说来，人们要写信的情况有定规，需要说的话也大致有定形。因此，如果您学会为数不多的书信文章，它则将发挥大作用，帮助您解决写作的困难。总之，就算是必要的文章，也与自由作文不同，只要预先设想一定数目的特定文章，便可极为有效地完成写信的任务。

本书考虑到这种特殊性，针对性地蒐集了有效的短文。从体裁来说，本书第一部揭示了各种情况的实例。第二部设立了可供快速检索的关键用语，按照便于利用短文的形式进行排列。如果仅仅将这些短文连缀到一起，虽是不可能立即写成出色的书信，但其不足之处，如凭日常学习日语的实力，补以互通心声的语言，则可大体取得一封完整的书信的和谐形式。

作为最主要的问题，莫如说是文化方面互有差异的背景。用什么语言，怎样使用才能打动国外友人们的心弦，是很困难的。就连对中日两国文化有着深刻的理解，经常与国外友人频繁交往的人们，也会不断发生误会。进一步说，书信是文明的接点。我们要写成出色书信的努力，不外是我们互相理解的努力。我认为这是培育真正意义的中日友好。

本书难免有错误或误解之处，恳切希望各位读者批评指正，
以期他日之修改。

大 河 内 康 宪

几点说明

1. 本书的多数实例是中国式的书信。因此，书信前段的客套话多被省略。但是，正式的日本书信，在开头有季节性问候的习惯，也就是谈到四季的变化和四季的风物，继之，则问候对方的健康。举如：

1) 啓上 寒さきびしい折、その後お変わりなくお過ごし
でしょうか、お伺い申し上げます。

さて、私は……

2) 拝啓 春寒の候愈々ご清栄お慶び申し上げます。
さて、当社におきましては……

等等。2) 是一种特别注重形式的书信。前言完了就另起一行，开头用“さて”“ところで”等直接进入正文。像这样的格式，在亲密的关系之间，不仅不会有所影响，反而是一种亲切的表现。

关于有关四季一般的问候，兹举数例如下：

(春) 次第に春らしくなってまいりました。

春とはいえ寒い日が続きます。

梅の蕾もふくらんでまいりました。

桜花爛漫の季節になりました。

早春の候。春寒の候。春暖の候。晚春の候。

(夏) 風かおる若葉の季節になりました。

山々の緑も色濃くなってまいりました。

吹く風も夏らしくなってまいりました。

炎暑の日が続きます。

殊の外暑い毎日です。

朝夕は涼風のたつ頃となりました。
めっきり虫の声もしげくなりました。

新緑の候。梅雨の候。酷暑の候。残暑の候。

(秋) 月の色もすっかり秋らしくなりました。

天高く馬肥ゆる候となりました。

灯火親しむ秋となりました。

燃えたつ紅葉の季節になりました。

菊の花の盛りの頃となりました。

秋も次第に深くなりました。

爽秋の候。秋冷の候。錦繡の候。晚秋の候。

(冬) 街路に落葉散り敷く頃となりました。

めっきり寒くなってまいりました。

木枯らしの身にしむ候となりました。

今年も残り少なくなりました。

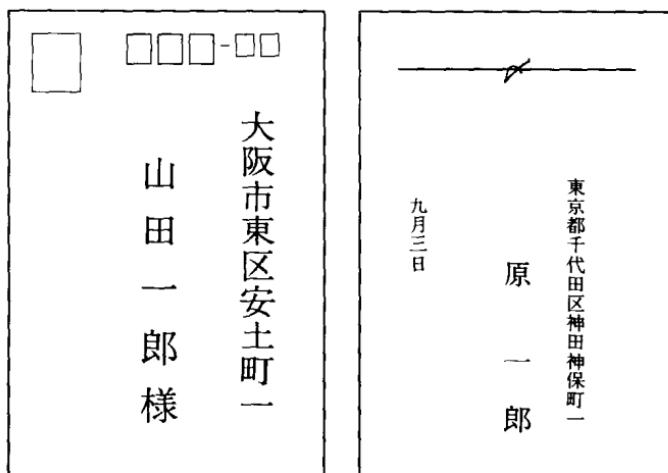
向寒のみぎり。寒冷の候。厳寒の候。

2. 在书信中如何称呼自己和对方的亲戚和朋友方面，必须遵照日本的习惯。自己方面要用谦逊语，对对方要用尊称。兹将其代表性称呼列表如下：

关 系	尊 称	谦 称
祖 父	ご 祖 父 さ ま	祖 父
祖 母	ご 祖 母 さ ま	祖 母
父	お 父 さ ま, ご 父 君	父, お や じ
母	お 母 さ ま, ご 母 堂	母, お ふ く ろ
双 亲	ご 両 親	両 親
夫	ご 主 人, 旦 那 さ ま	主 人, 夫
妻	奥 さ ま, ご 令 室	家 内, 妻

儿	子	お子さま, ご子息	子供, 息子
女	儿	お嬢さま, ご息女	子供, 娘
家	属	ご家族, ご一家	家族, 私ども
兄		お兄さま, ご令兄	兄, (長, 次)兄
弟		弟さん, ご令弟	弟, (次, 末)弟
姐		お姉さま, ご令姉	姉, (長, 次)姉
妹		妹さん, ご令妹	妹
(伯、叔)父		伯父さま, 叔父さま	(伯, 叔)父
(伯、叔)母		伯母さま, 叔母さま	(伯, 叔)母
朋	友	お友だち, ご友人	友 人

3. 日本的书信，寄信人的姓名写在信封的背面。



目 次

第一 部

1. 年 賀	20	15. 招待・招請	220
2. 出産を祝う	36	16. 依 賴	234
3. 結婚を祝う	46	17. 紹 介	252
4. 入学を祝う	58	18. 推 薦	266
5. 卒業を祝う	72	19. 催 促	272
6. 合格を祝う	82	20. 断 り	282
7. 就職を祝う	88	21. 詫 び	292
8. 病気見舞い	96	22. 取引の申込	302
9. お 悔 み	110	23. 引合い、オッファー	312
10. 旅 行	124	24. 信用状・決済	328
11. 贈 り 物	138	25. 船 積 み	338
12. 問合せ・返答	150	26. 保 険	346
13. お 礼	174	27. ク レ ー ム	350
14. 通知・報告	198		

第二 部

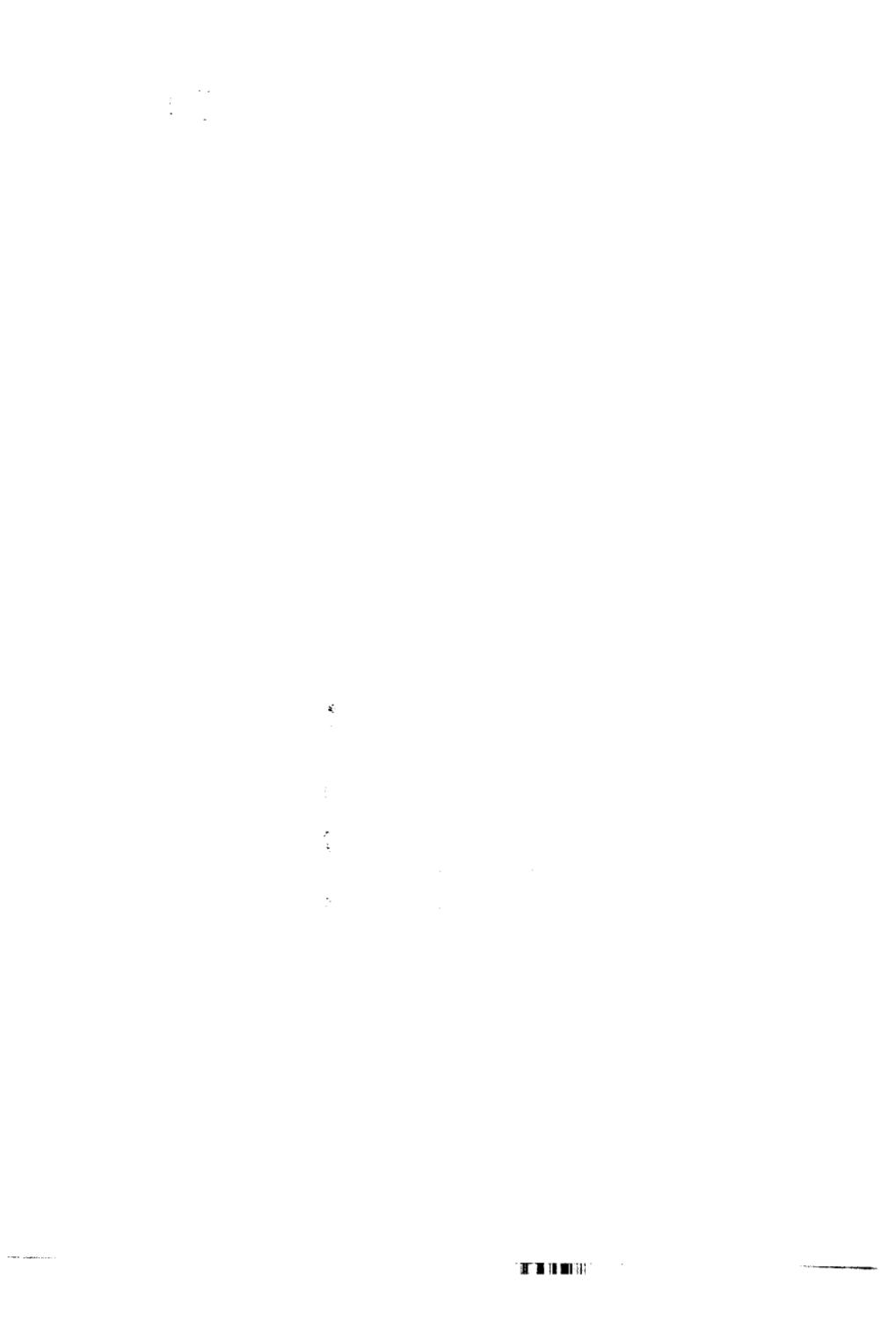
あ	362	か	402	さ	455
い	373	き	421	し	463
う	383	く	434	す	493
え	389	け	438	せ	496
お	391	こ	445	そ	505

た	510	ひ	570	ゆ	618
ち	521	ふ	580	よ	622
つ	526	へ	590	ら	627
て	531	ほ	595	り	628
と	541	ま	599	る	632
な	549	み	602	れ	633
に	552	む	608	ろ	635
ね	557	め	610	わ	636
の	560	も	613		
は	561	や	615		

中国語書簡文 表現辭典

大河内康憲著
孫丁雷素門菲

燎原



前　　言

用外语写文章，不是一件容易的事情。因为文章不仅需要通顺，而且要多少打动读者的心弦。文章与会话的巧拙不同，本来就需要经过长期的特别锻练的。书信文章，如果把特殊的商业性、事务性书信另当别论的话，仍然是向读者倾述、打动读者心弦的文章。书信中所传达的事实，最初相互间已了解的情况也是较多。尽管如此，仍然需要写信。这只是为了互通心声。如果把它用外语表现，其艰巨的程度是不难想像的。

然而书信文章有其特殊性。一般说来，人们要写信的情况有定规，需要说的话也大致有定形。因此，如果您学会为数不多的书信文章，它则将发挥大作用，帮助您解决写作的困难。总之，就算是必要的文章，也与自由作文不同，只要预先设想一定数目的特定文章，便可极为有效地完成写信的任务。

本书考虑到这种特殊性，针对性地蒐集了有效的短文。从体裁来说，本书第一部揭示了各种情况的实例。第二部设立了可供快速检索的关键用语，按照便于利用短文的形式进行排列。如果仅仅将这些短文连缀到一起，虽是不可能立即写成出色的书信，但其不足之处，如凭日常学习日语的实力，补以互通心声的语言，则可大体取得一封完整的书信的和谐形式。

作为最主要的问题，莫如说是文化方面互有差异的背景。用什么语言，怎样使用才能打动国外友人们的心弦，是很困难的。就连对中日两国文化有着深刻的理解，经常与国外友人频繁交往的人们，也会不断发生误会。进一步说，书信是文明的接点。我们要写成出色书信的努力，不外是我们互相理解的努力。我认为这是培育真正意义的中日友好。

本书难免有错误或误解之处，恳切希望各位读者批评指正，
以期他日之修改。

大 河 内 康 宪

几点说明

1. 本书的多数实例是中国式的书信。因此，书信前段的客套话多被省略。但是，正式的日本书信，在开头有季节性问候的习惯，也就是谈到四季的变化和四季的风物，继之，则问候对方的健康。举如：

1) 啓上 寒さきびしい折、その後お変わりなくお過ごしでしょうか、お伺い申し上げます。
さて、私は……

2) 拝啓 春寒の候愈々ご清栄お慶び申し上げます。
さて、当社におきましては……

等等。2) 是一种特别注重形式的书信。前言完了就另起一行，开头用“さて”“ところで”等直接进入正文。像这样的格式，在亲密的关系之间，不仅不会有所影响，反而是一种亲切的表现。

关于有关四季一般的问候，兹举数例如下：

(春) 次第に春らしくなってまいりました。

春とはいえ寒い日が続きます。

梅の蕾もふくらんでまいりました。

桜花爛漫の季節になりました。

早春の候。春寒の候。春暖の候。晚春の候。

(夏) 風かおる若葉の季節になりました。

山々の緑も色濃くなってまいりました。

吹く風も夏らしくなってまいりました。

炎暑の日が続きます。

殊の外暑い毎日です。

朝夕は涼風のたつ頃となりました。

めっきり虫の声もしげくなりました。

新緑の候。梅雨の候。酷暑の候。残暑の候。

(秋) 月の色もすっかり秋らしくなりました。

天高く馬肥ゆる候となりました。

灯火親しむ秋となりました。

燃えたつ紅葉の季節になりました。

菊の花の盛りの頃となりました。

秋も次第に深くなりました。

爽秋の候。秋冷の候。錦繡の候。晚秋の候。

(冬) 街路に落葉散り敷く頃となりました。

めっきり寒くなってまいりました。

木枯らしの身にしむ候となりました。

今年も残り少なくなりました。

向寒のみぎり。寒冷の候。厳寒の候。

2. 在书信中如何称呼自己和对方的亲戚和朋友方面，必须遵照日本的习惯。自己方面要用谦逊语，对对方要用尊称。兹将其代表性称呼列表如下：

关 系	尊 称	谦 称
祖 父	ご 祖 父 さ ま	祖 父
祖 母	ご 祖 母 さ ま	祖 母
父	お父さま, ご父君	父, お や じ
母	お母さま, ご母堂	母, おふくろ
双 亲	ご 両 親	両 親
夫	ご 主 人, 旦 那 さ ま	主 人, 夫
妻	奥 さ ま, ご 令 室	家 内, 妻

儿	子	お子さま、ご子息	子供、息子
女	儿	お嬢さま、ご息女	子供、娘
家	属	ご家族、ご一家	家族、私ども
兄		お兄さま、ご令兄	兄、(長、次)兄
弟		弟さん、ご令弟	弟、(次、末)弟
姐		お姉さま、ご令姉	姉、(長、次)姉
妹		妹さん、ご令妹	妹
(伯、叔)父		伯父さま、叔父さま	(伯、叔)父
(伯、叔)母		伯母さま、叔母さま	(伯、叔)母
朋	友	お友だち、ご友人	友人

3. 日本的书信，寄信人的姓名写在信封的背面。

